

蜜蜂  
花

ユリヲナ

よりぬき熟女リヨナ

無料  
配布

公開中のWEB漫画から  
リヨナ&暴力要素をよりぬきました

18  
成人向



# ユウザイン

ご主人様の純母様に  
ボコられ雨蘭ママ



# ユリ4IN

vol.5

ピクシブにてWEB漫画  
5話まで公開中

母子相姦 × 毒母百合

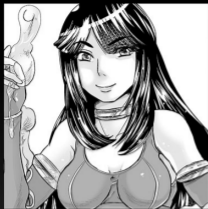


pixiv



成人向





ソラ  
蒼羅



ウラン  
雨蘭ママ



純母様

## 前回までのSTORY

ミナブト ソラ  
水無月蒼羅には二人の母親がいる。

ミナブト ウラン  
八年前に死んだ《母様》六原純と、その愛人だった《ママ》水無月雨蘭。

ママに恋をした蒼羅は、思いの丈を打ち明け結ばれる。  
しかし雨蘭は秘書のリーベルとも関係があった。  
浮気現場を見てしまった蒼羅の前に死んだはずの純が現れる。  
それが異変の始まりだった。

蒼羅の前に現れては消える純。やがて蒼羅の身体を使い、行動をするようになる。  
純は蒼羅の身体で雨蘭を抱き、雨蘭は純の処女を奪う。  
純の再来を手放して喜ぶ雨蘭、娘の成長に不機嫌になる純。  
二人は口論になり、振り上げた純の手を蒼羅が止めた時、蒼羅は純の存在を確信する。

何をしても純と比較される現状に苦しみながらも、  
蒼羅は純と共に雨蘭をまもると告げるのだった。





加減している!!  
これしき耐えろツ!!



不甲斐ないから  
雨蘭が満たされない



私との思い出だけに  
いつまでも縋ってる!

かはっ……

ああッ

ほしはなさん  
蒼羅  
母様の恥  
し、かー  
あつ

おはよーん

おん  
ん

寝起き蒼羅と  
雨蘭さん  
2011.11.18

氷無月蒼羅(16)  
雨蘭が代理出産した  
純の隠し子。  
ママは大好き。  
母様は怖い。  
ママに想いを打ち明け  
結ばれたが  
自分の体が母様の  
人格に乗っ取られ焦る。  
小柄巨乳。

カラー版は  
pixivに投稿してます



おっぱい  
大好き♡

スチキヤ  
純♡

あゝ♡

おっぱい

おっぱい♡

おっぱい♡

くた

くた

20.11.20

### 水無月雨蘭(32)

専用乳母型汎用体。  
沙那コーポレーション  
幹部専属のクローン代理母兼乳母。  
主人の六原純から卵子提供を受け  
娘蒼羅を密かに出産。  
蒼羅からはママと呼ばれている。  
貞淑な母親が淫乱。

純の死後も、純のいつけどおり  
蒼羅を育てれば純が帰ってくる。  
また母娘三人で暮らせると信じている。  
大柄母乳。

**シーローズ：タイプH20**  
企業都市沙那の上流市民が  
ポータルからオーダーできる  
ゼリータイプのアダルトトイ。

思い描いた形に変形するが  
シーローズ自体に意志は無く  
操作するもの。経験が浅いと  
単純な形のパイプを描くだけで  
集中力が途切れるが慣れれば  
派手なハーネスを作ったり  
触手を複数操作することも可能。  
連じたり命ずると溶けて蒸発。  
神経を繋いでの使用がメイン。

流通品は安全なアダルトトイ。  
純が使用するシーローズのような  
殺傷力はない。  
未成年のオーダーは  
保護者の認可が必要。

ユリ母in2話より 暴行を受けた雨蘭ママ





来ないで!!



ママ……!!



ガラス散らばって危ないから

蒼羅は部屋に戻りなさい明日も研修でしょ?



研修なんてどうでもいい!!



酔ってたの飲み過ぎたわ

けつまづいて酒瓶ひっくり返しちゃった



どうでもいら

それが  
あなたの本心？



ビクッ



純の跡取りと  
認めて  
もらうための

とても  
大事な研修が

どうでもいいのね？  
蒼羅……



ごめんなさい  
ママ

そんな顔  
しないで

怪我に  
驚いただけ  
本気じゃない

大丈夫  
ちゃんと  
分かってるよ

蒼羅……

必ず  
跡取りと  
認めてもらう

私は  
母様の娘だもの

リーベル

はい

ママの  
手当てを

かしこまり  
ました  
蒼羅お嬢様

パシィ



ワガママ放題の未亡人に  
絶対服従完全奉仕のサイボーグ秘書

20.10.26

ユキシロ  
リーベル雪代

秘書型汎用体。四肢を機械化したサイボーグ。やや筋肉質。元沙那コーポレーション副社長秘書。マスターである純の死後は蒼羅と雨蘭に仕える。

純のDVを受け歪んでしまった雨蘭を間近で見できたので情が移る。雨蘭に愛されて居ないと分かっているが生涯支えるつもり。



pixiv



pixiv

ころけっと4用 中色紙(212×182mm)

イベント展示用色紙。リーベル四肢欠損ミリペン画。  
中色紙2000円・ミニ色紙1000円前後でお譲りしてます。



巨母IN2話より 雨蘭奥様と秘書リーベル





奥様  
いけません

これ以上は……



疼いて  
おかしくなりそう



私も疼くの



失礼

あっ

純に  
殴られた痕

ああッ!!!



はっ

はっ

はっ  
はっ



ん……っ

ふふ……



バイブ  
だけで  
逃しちゃった♡

……



思い出すわね  
リーベル







ユリ母iN  
RAISON D'ETRE  
レゾンデートル

ユリ母iN同人誌版4巻ゲスト小説

小説 / ツツラカヅサ

絵 / S, 夜紫蛇

発行 / ピアチカ

鼓膜まで満たした水が、鈍い空気の玉の生まれる音を伝える。

初めはゆっくりだったそれは、すぐに間隔を狭めてゆき、《彼女》を生まれた時から包んでいた生ぬるい水が排出された。浮力を失って水槽の床に座り込むが、視線を感じて《彼女》は顔をあげた。まだ意のままに動かぬ四肢を引き摺って、遠い、ガラスに鈍りつく。

《彼女》の全てが、そこに惹き付けられていた。誰に教わらずとも分かる。あのガラスの向こうに立つ、長い黒髪の、気高い美しさ。

初めて震える声帯が、機械の産声を呟いた。

五体めの、オリジナル汎用体の少女が生育用ポッドからコントロールルームを見上げている。

蜂蜜色の髪、すらりと伸びた四肢は雪のように白い。

六原純は、満足げな笑みを方頬に浮かべて、手元のカルテと実物を見比べていた。

「Hello,world!...マスター、折角ヒトに限りなく近く生まれてきた汎用体に、わざわざプログラムミングの初歩を喋らせずとも」

純の傍らに立つ、金髪の秘書がやや眉根を曇らせて答めた。

「自覚させるのが悪趣味と？あれは特別な汎用体。代謝も老化も組み込んだ。自覚がなくなれば自らがヒトではないということも忘れてしまうだろう」

「いつもなら自分の行動に異論を挟まれるのを嫌う純も、この時は秘書の言葉を鼻先で笑って流す。

「お前の同胞ではあろうが、肩入れが過ぎるとお前の自律思考、制御をかけるぞ雪代」

「……失礼致しました」

「…母として、あれはこの先長く生きねばならん。支えるのは、お前に任せる」

「承知致しました」

リーベルが恭しく頭を下げると、純はカルテを手にコントロールルームを出ていった。

「六原副社長、聞いているのかね！そもそも君達の提案は政府としても——」

「この話はここまでだ、次官。次は大臣を呼んで来い。雪代、切れ」

「かしこまりました」

金髪の秘書が一礼すると、未だ喚き続ける政府高官のホログラムが中空に掻き消えた。

沙那の扱う商品は主にバイオテクノロジ―技術の産物なのだが、画期的過ぎて法律のグレーゾーンに

かかることもしばしばである。純の善悪や価値観は常人とはかけ離れている。いつもなら社長の異母姉・清美が折衝に当たるが、純が担当すると今回のように大概大荒れになった。

「あの老害どもが！」

怒りに任せて、純はデスクの上の物を手当たり次第にホログラムが映っていた壁へと投げつける。投げるものがなくなつて、大きいため息をついたところでリーベルがグラスにウイスキーを程よく注いで差し出す。グラスの中身を一息におおり、とどめとばかりに壁へ叩きつけた。

「休む。一時間て起こしに来い」

「かしこまりました」

秘書の平淡な返事を聞き流し、執務室の隣に設えたプライベートルームのソファアーに倒れ込む。常用の睡眠薬を奥歯で噛み砕き、しばらく目を瞑ると、純の意識にすんと暗闇が訪れた。

副社長室から物音がしなくなつてから十分ほど後、一つの影が、静かに侵入してきた。

蜂蜜色の髪をした、十七、八歳頃に見える汎用体である。彼女は純から雨蘭という名を与えられていた。雨蘭が初めて純を見た日から、もう既に一年が過ぎようとしていた。

「マスター……寝てる？」

三人掛けのソファアーに仰向けのまま動かない主人を見て、雨蘭は純の呼吸を確かめに近寄る。規則正しく上下する胸を見て、雨蘭は安堵の溜め息をついた。

息が詰まるような、胸を押し潰されるような想いが溢れて、雨蘭は純の寝顔から目を離せなくなった。「マスター」

目の前の存在の呼び名を口にするだけで鼓動が加速する。雨蘭はカーベットに跪いてその唇に自らの唇を重ねた。純の眠りを妨げないように、下唇を甘く食んで口角まで唇でなぞる。しかし、舌を少し出して顎先を舐めたあたりで、雨蘭の脆い理性は溶けきってしまった。

一度身を離して寝息のリズムが変わらないことを確認してから、ブラウスのボタンをそつと外す。指先がやけに震えて幾度か純の柔らかい谷間に手が当たる。

（マスター、どうして愛してくれないの）

生まれてからずっと、雨蘭は自分の中に臓腑を焦がすような純への想いを抱えてきた。一般に乳母型汎用体は、主から愛され、主の子供を産むことが生きる目的である。純の研究室で特別に感情や機能を調整されたとは言え、その基本的な設計は変わっていない。

何度かそつとアプローチをかけたものの、純の雨蘭への態度は素っ気ないものだった。メンテナンス以外では雨蘭の肌に触れることもない。

主人からの求めがなくては、触れることすらもプログラムがアラートを発する。純は自分の創造物をヒトに近づけようとその枷を緩めはしたが、本能に近いそれは雨蘭を躊躇させた。

「でも、もう限界なの。」

ブラウスをはだけて現れた鎖骨下の柔肌に、震える唇でロブける。ブラジャーをずらし、盛り上がった肉から布際に浮かんだ紅色の肉芽も唇と舌で丹念に愛撫する。こうまでしても純に目覚める兆しはない。

こうなればできるところまでと、雨蘭はソファアの上の純を跨ぐ格好で四つん這いになった。よく引き締まった腹筋を愛おしく撫で、びったりと体のラインを伝えるスカートへ手を掛けた時。

「きゃあっ!？」

純の体を夢中で貪ろうとする雨蘭の頭が、髪ごと強い力で引つ張られた。不意を付かれて、雨蘭は純の上から転げ落ちる。床に打ち付けた部分を擦りながら顔を上げた雨蘭の前に、憤怒の形相で立ち上がった純の姿があった。

乱されたブラウスもそのままに、肩を震わせた純は雨蘭を打ち据えようと手を振り上げ――

続きは製品版でお楽しみください



pixiv



何が子供が  
できても働ける  
女性が輝ける都市よ

娘は欲しいけど  
恋愛も結婚も煩わしいから  
沙那に来たっていうのに

身請け前なら  
指輪も私も  
返品可能です



お嬢様は立派に  
成長なさいました  
お嬢様には敬愛する  
お母様がいれば大丈夫

娘に乳母が  
必要かどうかは  
私が決める

お言葉ですが  
マスター



共用乳母型汎用体と異なり  
専用乳母型汎用体の  
検診は保険適用外  
ラボへの返品もできません

お嬢様を  
産み育てるだけでなく  
マスターのサポートも私の役目  
マスターのご負担にはなれません



六原コンツェルン総帥代行  
六原清美(純の異母姉)の台詞より

人類の寿命は極端に短くなった  
平均寿命は40歳と  
いわれているわ

女にとって生きづらいこの時代  
六原は女が輝くための企業

システム輪廻懸生

六原がシステムを  
開発したおかげで  
人類はかつての  
寿命さえ  
取り戻しつつある

記憶をデータ化し  
そのまま  
移し替えるための  
マイクロチップ

新しい体を産み出す  
健康で安定した  
代理母の供給

遺伝子の  
デザイン技術も  
六原……

いえ純が  
次々と  
開発していったの

沙那……  
私が純に与えた  
実験都市で

子供ができてでも働ける  
出産の痛みもない  
女性が輝ける都市の  
呼びかけで

純は沙那に  
女連を集めた

人口抑制のために  
男は厳選された  
精子の輸入のみ  
汎用体すら男はいない

不妊治療の研究特区  
特例での  
汎用体代理母の使用

六原の横回りで  
政治的な問題は  
皆無だったわ

沙那の思想に  
共鳴し  
移住した者には

最先端の住まいと  
社会保障と  
職を与えた

男が不要で  
母子のデータ提供を  
認められるのなら

子を産み  
働きたい  
女にとって

沙那はどこよりも  
生きやすい街——



pixiv

2012.9

# ユリ母iN

ユリ母iN同人誌版  
5巻ゲスト小説



よわ <sup>あらし</sup>  
「夜半の嵐」

文：ツヅラカヅサ  
イラスト：S, 夜紫蛇



夜半の嵐

雨蘭が大怪我をした夜、焦点の定まらない瞳をした蒼羅が雨蘭の居室へやってきた。続き間の寝室で雨蘭の看護をしていたリーベルは、静かにドアを閉めると蒼羅を出迎えた。

「お嬢様、奥様は今お休みに」

—— 様子が、おかしい。

駆け寄ろうとしたリーベルの頭部に、鈍い痛みが閃いた。明滅する不確かな視界、そこに映るかつての主によく似た姿。

(……純さま……)

それを確かめる間もなく、リーベルの情報伝達回路は一時的にブラックアウトした。

「……再起動を開始します……システムチェック……」

瞬きする視界に重なるようにプログラムが流れてゆく。リーベルは久々に見るこの光景を、ぼんやりとする頭のまま眺めていた。

最後に見たのは……もう十数年前だ。基本的に普通に生きていれば、スリープこそすれブラックアウトはない。

そう、前のあの時は……雨蘭を……。

「起きたか」

耳に馴染んだ声が、リーベルを現実引き戻した。声や姿はリーベルが大切に守ってきた少女のものだが、中身は違う。尊大な態度、この口調、作られた時から何年間も側にいたから間違いはない。

両蘭愛用のソファに身を埋め、純の存在感を放つ娘は床から身を起こしたリーベルにぞんざいな一瞥を投げた。

「純さま……お帰りなさいませ」

死んだはずの主人が娘の身体を使っている事に対する理解は追いついていないものの、アノニマス特有の服従癖がリーベルに頭を下げさせた。

「お嬢様の——お身体をお使いなのですね」

「不満そうだな？雪代。これは元より私が私のために作った身体だ。お前たちは器を育てていただけに過ぎぬ」  
さも当然そうに嘯く純に、リーベルの脳裏を数々の想い出が駆け巡る。まだ子供の頃の蒼羅から現在に至るまで、リーベルも穏やかに蒼羅を愛して見守っていたのだ。それが母親の気持ちなのかは、産む機能のついていないリーベルには分からない。ただ、ザワザワと血の気が引いていくのが感じられる。

「蒼羅様のお心は……どうなるのですか？今まで蒼羅様として育ってきた想い出は？」

「私が蒼羅を統合して、蒼羅という意識が消滅することが怖いか？それとも折角育ててきた子供が私に取られることが怖いか？両蘭を絆して寝盗った上にヒト並みに親心まで備えるとは！私のデザインした人工知能もなかなか高性能に働くものだ！」

皮肉げにせせら笑う純は、ソファから立ち上がると床に座り込むリーベルの頬を平手で叩いた。

「……戦闘型に近いお前に、肉体的な苦痛は効果的ではなかったな」

臉を閉じ、じっと主人の怒りを耐えるリーベルを見て、純は考えを変えた。

「シーローズ、固定」

短く召喚すると、純の股間に勇壮なモノが瞬時にそそり勃つ。純の呟きを聞いて目を開けたリーベルは、その凶器のような形状にわずかに後退った。

「初めては両蘭にしようかと思っただけ。できるかできないかをお前で試すでしょう」

身を翻して逃げようとするリーベルの銀の髪を掴んで、純は昂ぶりに無理矢理押し付ける。最初こそ拒んでいたリーベルだったが、やがて口を最大限まで開き、喉の奥まで主人を迎え入れて舌と唾液を絡めて

愛しげに愛撫し始めた。

「やはり出産機能をなくしてもアノニマスだな。主人の意向を汲んでいくだけでも乱れる」

「じゅぶっ……ちゅっちゅっ、じゅるるっ、ああ………純…様」

神経の通っていない水分の凝ったデイルドを紙め回すリーベルの身体がもどかしげにくねる。衣類は早々に脱ぎ捨てられ、全裸になったリーベルは持てる限りの技術を駆使して主を悦ばせようとしていた。

リーベルの乳首、局部にはリミッターが設えてあり、主人の許可がなければ外すことはできない。雨蘭と交わった罰だと、在りし日の純は嗤っていた。それが。

「1番から3番まで開放、側坐核への入力を許可」

リーベルに唾えさせながら宇宙に出した端末に呟くと、リーベルの乳首と腰を覆っていた小さなカバーが外れて床へと転がる。

続きは製品版でお楽しみください



pixiv

18  
ADULT  
ONLY

ピクシブにてWEB漫画掲載中  
同人誌版は19年3月発行



蜜蜂と花  
前編



pixiv

# 蜜蜂と仇花 登場人物&あらすじ

## サニア公女(28/18)

亜熱帯の国ミルマーナの  
元第一王女で  
誇り高き半陰陽の姫。  
10年前世界を救った英雄の一人。  
世界が半壊した大災害「大崩壊」の  
後はミルマーナの指導者に。  
半陰陽の姫を現人神と崇める  
風習から民の処女権を持ち  
後目で抱く女は多数。



## セーラ(22)

旧田ロマリア出身の  
妻鏡女ハンターで、  
ミルマーナ自警団団長。  
公私共にサニアを支える。  
サニアが民の処女権を持ち  
深い裡後も多数居ることは  
未だに割り切れていないが  
恋人はセーラだけという  
サニアの言葉を支えに  
気丈に振る舞う。



## シャンテ(33/23)

10年前サニアと旅し、  
世界を救った英雄の一人。  
騒ぐ者金で魅了する  
世界のディーバだが  
元は場末の酒場の歌手で  
毎晩客を取っていた。  
恋多き女で、18歳サニアとも  
肉体関係にあった。



## 前編あらすじ

ミルマーナの半陰陽の公女・サニアと自警団団長のセーラは恋人同士。  
務めとして国中の娘たちに『祝福』を与えるサニアに、  
セーラは平常心を保つだけで精一杯である。

## 後編内容紹介

やがて激務に耐えかねたサニアの身体に異変が現れ、  
そこへかつての戦友・歌姫シャンテが色香と災厄を携えて登場する。  
異色のアークザラッドR半陰陽サニア×セーラ漫画。

ミルマーナ王は  
一夫多妻

半陰陽の  
公女にとっても  
女の数は甲斐性

女ひとり  
惑うなど

公女にとっては  
恥なのだ

蜜蜂と仇花前編より サニアと先王の妾

お戯れが過ぎます  
サニア殿下

あの生白い  
ロマリア女に  
お情けを？

なあに？  
私の女を  
侮辱する気？

添い寝役が  
お気に召さないなら  
そう仰って  
くださいまし

添い寝役に  
落ち度はないわ  
——私では  
種をつけて  
やれないの

しかし方が一  
ロマリア人に  
お世継ぎが  
授かりでもしたら  
亡き陛下に申し訳が……

お世継ぎ？

神は  
男でもなく  
女でもない

陛下のお言葉よ  
お父様は  
分かっていた

両性を備えるが故に  
両性共に不完全だと

お言葉を  
返すようですが

陛下は私に  
こうも仰せに  
なりました

殿下の  
帰りを待て

殿下に  
全てを託すと

全ての中には  
王国の血脈も  
あるのでは……

殿下……？

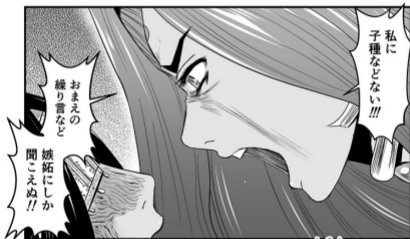
そんなに  
ロマリア人が嫌なら  
貴女が孕んでみる？

あッ!?

いけません  
殿下

私はもう  
お情けを賜れる  
身体では……

お許しください  
殿下ッ……







ならば主の選択に  
口を挟まないで

王朝が減じるのも  
主の決めた事よ

サニア様……

お父様が溺れた  
名器は  
健在のようね？

今夜はあなたが  
相手して

ああ……

勿体のう  
ございます  
サニア様♥

軍事クーデターを  
扇動したのは  
ロマリア軍だが

王の女達を陵辱し  
顔まで焼いたのは  
ミルマーナ兵

軍事クーデターの  
トラウマは  
未だ深く

ミルマーナは  
正規軍すら  
持てない

# モブ熟女(43)ラフ 眼帯無しver



## 【モブ設定】

- ・元王の妾でサニアの侍女
- ・軍事クーデター時、顔を焼かれた
- ・ロマリア人は国が減ぼうと絶対許さない
- ・セーラを含むロマリア系移住者を嫌悪
- ・王政復古派。サニアは民に甘すぎて心配
- ・元貴族の娘達をサニアの忝い復役にあてがう

## 【眼帯無し版】

漫画本編はR18Gでないため眼帯外しているシーンがなかったので眼帯無し版描いてみました

お早うございます  
サニア殿下  
昨日は随分  
お楽しみでしたね？

五月蠅い  
小言は後にして  
頭に響く

湯浴みの準備は  
整っております  
さ……殿下？

ひとりでいい  
酔いは醒めた

ご無礼を殿下  
すぐに若い湯女を  
ご用意いたします

女を抱く暇ないわよ  
介抱したいなら  
おまえがなさい

はい  
サニア様♥

## 二日酔いサニア(28)とアラフォー侍女

※蜜蜂と仇花 前編で登場



あ、  
白くは  
二

殿下

サテ殿下  
お背中を...

二言っただけ  
お前を二二と

サテ殿下  
お前を二二と

サテ殿下  
お前を二二と

2010.24



かみん

18  
ADULT  
ONLY

ピクシブにてWEB漫画更新中  
同人誌版は21年発行予定



蜜蜂と花  
後編



pixiv



カリカリしないで  
子猫ちゃん♡

お金は既に  
頂いたわ



このサニエレ・アルノ、  
ヘドパッチ・ミルマ  
いかに落ちぶれようと

おまえのような売女に  
憐れまれる  
いわれはない!!

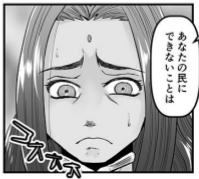


アタシはプロよ？  
嫌なことなんか  
全部忘れて

身も心も  
とろける夢を  
見ればいい









サニ……ア

イラつくのよ  
アンの声はッ!!!



似ても似つかぬ  
下品な雌のくせに  
どうしてッ……



お母様を  
思い出させるの……!

陛下の代わりに  
お母様を愛して

満たしていると  
自惚れていた

——お母様  
正妃であられたのに

私を産んでしまったがために  
陛下のご寵愛を賜れず

寂しい思いをなさっていた



pixiv

## おくづけ

発行日 : 2021/03/07  
発行 : ビアチカ  
著者 : S.夜紫蛇(エスヨシダ)  
HP : <http://nousk.jp>  
pixiv : <http://pixiv.me/nouskjp>  
fantia : <https://fantia.jp/biatica>  
連絡先 : メールのQRコード参照  
印刷所 : (株)サングループ殿

※通常百合同人誌は「ピアチカ」  
ふたなりは「皇統元帝国」にて発行しています。  
今回はリョナよりぬき本のため  
百合とふたなりで別名義にしてません。

☆pixiv・メールフォーム等に  
ご感想いただけると嬉しいです！



pixiv



メール





発行 : ピアチカ  
著者 : S,夜紫蛇(エスヨシダ)  
pixiv : <http://pixiv.me/nouskjp>

